

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期 人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県岡谷市

3 地域再生計画の区域

長野県岡谷市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は1980年の62,210人をピークに減少しており、2023年に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来人口」によると、本市の人口は、2045年には33,973人となる見込である。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1977年の15,734人をピークに減少し、2023年には4,805人となる一方、老年人口（65歳以上）は1960年の3,115人から2020年には16,522人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15歳～64歳）も1970年の41,816人をピークに減少傾向にあり、2023年には24,969人となっている。

自然動態では、出生数は1974年の1,293人をピークに減少し、2022年には263人となっている。その一方で、死亡数は2022年には710人と増加の一途をたどっており、2022年の出生数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲447人となっている。

また、社会動態では、減少傾向が続いていたが、2022年に転入者（1,518人）、転出者（1,477人）で41人の社会増となり52年ぶりの社会増となった。しかしながら過去5年の累計では減少となっている。これは、人口の減少は出生数の減少や転出者の増加等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の低下、さらには地域コミュニティの低下等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、地域やまちの機能・魅力等の維持、安心して結婚や出産、子育てができる環境の充実、高齢者の住み慣れた地域での生活に不可欠な医療や生活支援等の日常生活を支える基盤の確保、地域や産業の担い手確保、地域の支えあいの促進等が重要となる。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

(基本目標)

- ・基本目標 1 とともに支えあい、健やかに暮らせるまち
- ・基本目標 2 未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち
- ・基本目標 3 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち
- ・基本目標 4 安全・安心で、自然環境と共生するまち
- ・基本目標 5 快適な生活を支え、住み続けたいまち
- ・基本目標 6 みんなでつくる、確かな未来を拓くまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	今後もこの地域で子育て していきたいと思う保護 者の割合	93.9%	95.9%	基本目標 1
	待機児童数 0 人を維持	2023 年度 0 人	0 人を維持	
	避難行動要支援者個別計 画登録申請率	59.8%	73.2%	
	要介護認定率	18.09%	18.65%	
	就労移行支援事業所の利 用者数	19 人	23 人	
	国民健康保険特定健康診	40.0%	50.0%	

	査受診率			
	健康寿命（男性）	81.9年	82.1年	
	健康寿命（女性）	85.7年	85.8年	
	医療体制の充実に満足しているとする方の割合	25.0%	33.3%	
イ	学校満足度（小学校）	86.6%	87.7%	基本目標 2
	学校満足度（中学校）	87.6%	88.4%	
	学習講座の参加者数	65,307人	138,000人	
	図書の貸出冊数	230,433冊	237,000冊	
	スポーツ施設利用者数	281,456人	321,000人	
	週1回以上運動、スポーツをすると回答した人の割合	48.1%	53.7%	
	施設入場者数 （カノラホール）	65,098人	99,000人	
	施設入場者数 （蚕糸博物館）	18,112人	35,000人	
	施設入場者数 （イルフ童画館）	19,338人	31,000人	
	施設入場者数 （美術考古館）	8,000人	12,000人	
ウ	粗付加価値額	848億円	980億円	基本目標 3
	年間販売額	1,355億円	1,355億円	
	創業者支援件数	11件	13件	
	遊休農地面積	11.8ha	11.8ha	
	民有林間伐面積	116.5ha	120.0ha	
	本市が発信するブランド 関連SNSのフォロワー 数	9,993件	12,000件	

	観光客数	236,200人	324,000人	
	就職説明会等への参加者数	897人	915人	
	諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの会員数	4,972人	5,100人	
	移住相談件数	99件	116件	
	行政サポートによる移住者数	67人	78人	
エ	防災訓練参加者数	7,640人	11,760人	基本目標4
	メール配信@おかや および岡谷市公式LINEの登録者数	15,457人	16,971人	
	消防団団員数(18~30歳)	84人	93人	
	人身交通事故件数	147件	129件以下	
	特殊詐欺認知件数	7件	5件	
	二酸化炭素排出量	284千t-CO2	257千t-CO2	
	子どもが参加する環境学習・体験の参加者数	382人	400人	
	諏訪湖および河川一斉清掃参加者数	1,000人	1,700人	
	1人1日当たりの燃やすごみ排出量	600.2g (家庭系406.42g) (事業系193.74g)	606.7g (家庭系404.03g) (事業系202.66g)	
	住宅の耐震化率	79.4%	83.6%	
空き家の利活用件数	7件/年	8件/年		
オ	計画的土地利用に関する市民の満足度	11.1%	12.0%	基本目標5
	計画的土地利用に関する市民の不満足度	18.4%	18.2%	

	都市計画道路の改良率	58.27%	58.85%	
	舗装修繕率	33.96%	41.00%	
	シルキーバスの利用者数	106,383人	110,000人	
	水道管路の耐震化率	19.8%	21.2%	
	下水道管路の耐震化率	60.4%	61.8%	
カ	まちづくりに対する市民参加の機会がある場合、参加したいと思う人の割合	27.8%	31.9%	基本目標6
	審議会などにおける女性委員の登用率	34.5%	36.3%	
	区への加入率	79.8%	79.8%	
	国際交流講座やイベントなどの参加者数	1,392人	1,430人	
	財政調整基金および減債基金残高	32億円	35億円	
	市債残高	224億円	221億円	
	公共施設（普通会計建物分）の延床面積	29.0万㎡	28.5万㎡	
	オンライン手続きが可能な行政手続件数	116手続	144手続	
	手続総件数に占めるオンライン数の割合	43.0%	55.3%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期 人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷推進事業

ア 「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」事業

イ 「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」事業

ウ 「人が集い、にぎわいと活力あふれるまち」事業

エ 「安全・安心で、自然環境と共生するまち」事業

オ 「快適な生活を支え、住み続けたいまち」事業

カ 「みんなでつくる、確かな未来を拓くまち」事業

② 事業の内容

ア 「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」事業

少子化や超高齢社会に対応したまちづくりに取り組むため、子ども・子育て支援の推進、福祉の推進、保健・医療の推進等とともに支えあい、健やかに暮らせる事業

【具体的な事業】

- ・結婚に対する支援のほか、母子保健の充実、地域とともに支える子育て支援の充実や子どもの育成支援
- ・重層的支援体制整備事業の構築、地域サポートセンター活動の充実や、地域福祉の担い手の確保・育成、地域の支えあい体制の充実
- ・高齢者福祉の推進、障がい者（児）福祉の推進のほか、社会保障の円滑な運営や健康づくりの推進、地域医療体制の推進 等

イ 「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」事業

未来の岡谷を担うひとづくりに取り組むため、学校教育の推進や生涯学習の推進のほか、スポーツ・文化の振興等、未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶ事業

【具体的な事業】

- ・笑顔で安心して学べる教育環境の整備、生涯を通じた学びの推進
- ・子どものスポーツ機会の充実、スポーツ環境の整備・充実
- ・文化財の保護・活用、歴史の伝承、文化芸術活動の促進と人材育成 等

ウ 「人が集い、にぎわいと活力あふれるまち」事業

本市の基幹産業である産業の振興を図るため、地域資源の活用、働く環境の充実、移住・定住の促進等、人が集い、にぎわいと活力あふれる事業

【具体的な事業】

- ・産業集積の強化、工業活性化対策の推進、経営環境の充実
- ・商業・サービス業の経営基盤整備、農業の担い手の育成、後継者・新たな農業者の確保、地産地消の推進
- ・岡谷ブランドの構築・発信、新たなシルク文化の創造、観光情報の発信、まちなか観光の推進、観光イベント等の充実
- ・移住定住支援の充実、移住後の生活支援 等

エ 「安全・安心で、自然環境と共生するまち」事業

恵まれた豊かな自然環境を後世へ引き継ぐため、安全対策の推進のほか、環境保全の推進、居住環境の充実等、安全・安心で自然環境と共生する事業

【具体的な事業】

- ・危機・防災・減災対策の推進と消防力の強化、生活安全対策の推進
- ・地球温暖化防止対策の推進、自然環境の保全、生活環境対策の推進
- ・住宅の省エネルギー化の促進、安全な住まいの確保、住宅セーフティネット機能の確保 等

オ 「快適な生活を支え、住み続けたいまち」事業

駅周辺の活性化をはじめ、道路環境の維持・整備に取り組んでいくため、計画的土地利用の推進、都市基盤の整備等、快適な生活を支え、住み続けたい事業

【具体的な事業】

- ・持続可能なまちづくりに向けたコンパクトな市街地の形成
- ・幹線道路等の整備促進、道路施設の老朽化に対応する維持管理、公共交通網の利用促進
- ・安全で安心な水道水の安定供給に向けた水道の整備、衛生的で快適な環境を守る下水道の維持・整備 等

カ 「みんなで作る、確かな未来を拓くまち」事業

地域におけるつながりの希薄化や地域コミュニティの担い手不足を克

服するほか、効率的で健全な行財政運営に取り組むため、地域コミュニティの振興、市政運営の推進等、みんなで作る確かな未来を拓く事業

【具体的な事業】

- ・まちづくりへの参加意識の醸成、広報広聴活動の充実、あらゆる分野において男女がともに活躍できる社会づくりの推進
- ・持続可能な行財政運営、公有財産の適量・適正化、自治体DXの推進、広域行政の推進
- ・旧岡谷市役所庁舎を後世に継承するため、安全対策及び長寿命化対策による適正な保全 等

※ なお、詳細は岡谷市デジタル田園都市構想総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

138,000千円（2024年度）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年9月頃に総合戦略評価等のための有識者会議において、効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式WEBサイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

2024年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで